

はじめに

はじめに

女性の活躍を加速するための「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」のⅢ（４）「仕事と子育て等の両立を阻害する慣行への対応」で指摘されているとおり、保育サービスの利用の事務手続や入園・入学の準備、日常的な対応（通園時の紙おむつへの記名や使用済み紙おむつの持ち帰り、日々の連絡帳への記入等）が、子育て世帯が仕事と子育てを両立するに当たり、負担になっている等の声がある。

両立支援に関しては、就業環境や多様な働き方の推進に関する調査は行われてきたものの、生活や家庭、社会全般での子育てでどのようなことに困り、不便を感じているかについては十分に把握しきれていない。

このため、特に仕事と子育ての両立を阻害したり、父親の育児参画を阻んだりする身近な慣行等について、調査を通して多くの声を受け止めて明らかにするとともに、その内容や事例の収集・分析を行い、今後の必要な方策を検討する上での基礎資料となる調査研究を行った。個人調査（インターネットモニター2,166名）に加え、内閣府男女共同参画局のサイトにて困りごと等について「意見募集」を行ったところ5,640名から貴重な意見が寄せられた。こうした声を踏まえながら、今後、困りごとが徐々に解消していけるよう取組を着実に進めていくことが重要となる。

本調査研究の実施に当たっては、4名の有識者に調査内容や分析視点等についてヒアリングを行った。ご協力いただいた有識者については以下のとおりである。

<有識者>

新井セラ	株式会社ワーク・ライフバランス	ワーク・ライフバランスコンサルタント
大西友美子	株式会社ワーク・ライフバランス	ワーク・ライフバランスコンサルタント
高村静	中央大学大学院戦略経営研究科	准教授
徳倉康之	株式会社ファミリーエ	代表取締役

※五十音順、敬称略